

■ 令和7年度 事業計画 ■

ともの家 設立の理念

- 障害者も主人公として精いっぱい生き、人間としてたくましく豊かな人生を築くことをめざします。
- 地域の人々の理解と協力のもとに、共に生きる街づくりをめざします。
- 障害者や家族、関係者一人ひとりの意見を大切にした、民主的な運営をめざします。

—はじめに—

福祉介護業界の賃金が他業種との比較で10万円安いと言われ、国が処遇改善費を施行したのが2009年。あれから15年が経過、最近の調査では差が8万円だそうです。力が抜けてしまいます。物価高騰、大手企業の初任給40万円のニュースに、相変わらず置いてきぼりを食っている、障害のある仲間たちとそこで働く私たちです。「きょうされん」や「全障研」の運動に賛同し学習していなければ、簡単に職員の働きやすさが優先になっていく危険があります。障害者福祉業界は、営利企業の参入が激増したこと、定員減により、経営が悪化し、事業閉鎖する事業所が出てきました。また、職員不足も乱立が原因のひとつになっているとも言われています。国が目指して質より量の障害者福祉の目的は果たされているのだと思います。

理念も継承しながら、安定した経営を目指すためには、障害者総合支援法の見直しが必須です。一気に変化するほどの希望は持ちませんが、仲間を真ん中に、正直に運営している事業所が閉鎖するようなことにならないよう、共同の力、同じ方向を向いている事業所同士の連携、つながりを持ってくださる様々な皆様にご協力頂けるよう働きかけていきたいと考えます。

1. 理念の浸透と継承

設立から37年を迎えるました。仲間が主体的に生きることができる環境には、そこで働く職員の意識の向上や学びの精神、また同じ方向で、物事を捉えられる保護者の存在が不可欠です。仲間が地域の中で、「生きる」「働き暮らす」ことが、少しでも長く続くこと、そして、働く職員の働きやすい環境を作り出すことに力を注ぎます。

2. 理念達成のために 私たちが行うこと

- | | |
|---|-----------------------|
| ○職員が学ぶ機会を作り、意識の向上に努めます | 内部研修の実施、AED使用訓練 |
| ○地域へ出て、私たちの存在をアピールします | 外出、イベント開催、映画会など |
| ○暮らす場の安定のため、グループホーム「とも」を「SUN」の隣接地に移転します | 土地購入と建設 |
| | 職員体制の見直し(効率化と不安軽減) |
| ○自然災害に対する意識を高めます | 防災訓練の定期的な実施、消火器訓練 |
| ○ヒヤリハット、ハラスメント、虐待の防止に努めます。 | 内部研修の実施、法人危機管理委員会への参加 |